

《最近の県内経済》 (2023年4月を中心として)

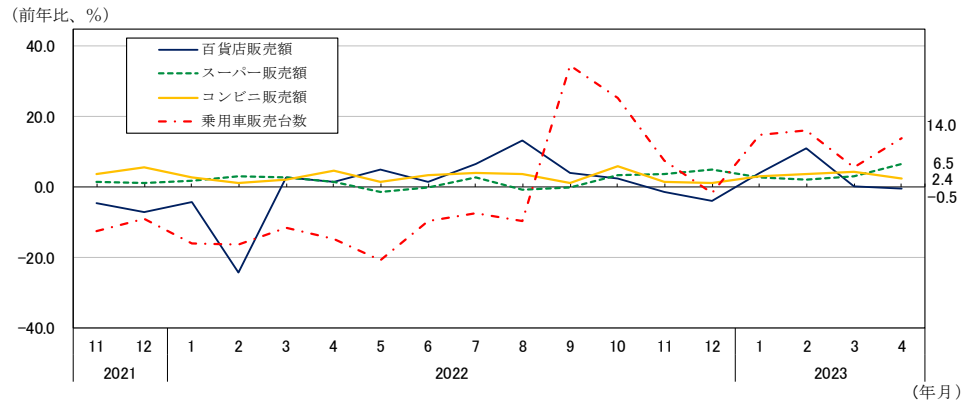
2023年6月30日

今月の概要

緩やかに持ち直している。

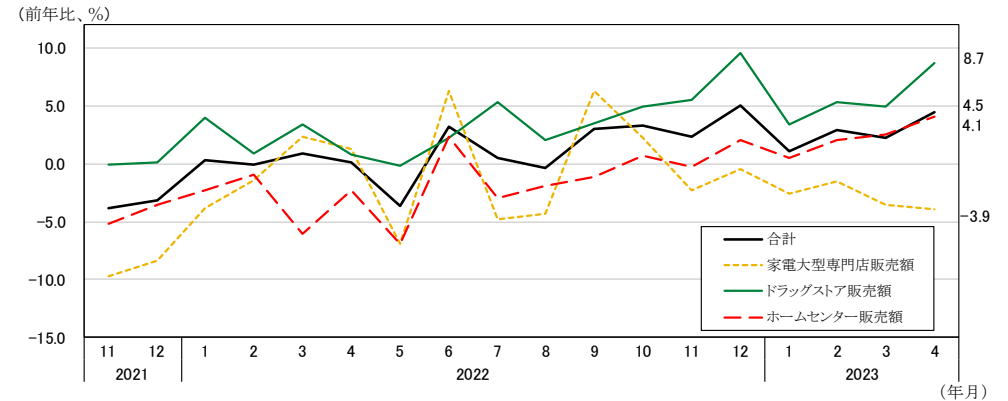
1 個人消費 ~持ち直しの動きが続いている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。

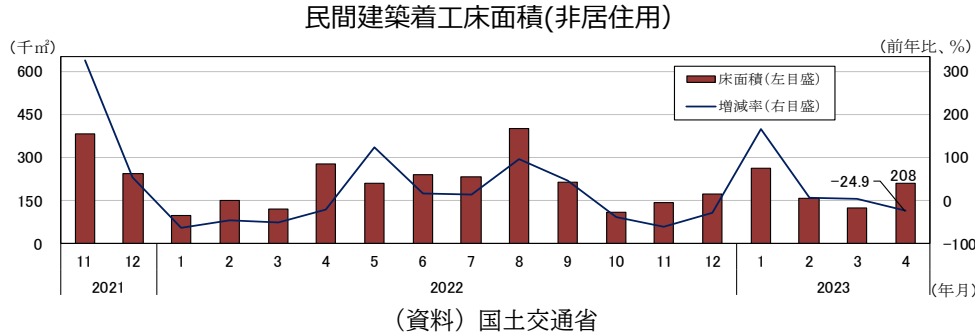
4月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が110億円で前年比0.5%減（4か月ぶりの減少）、スーパーは1,010億円で同6.5%増（7か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は559億円で同2.4%増と18か月連続の増加となった。行楽需要やイベント回復によるお弁当や総菜類、飲料品等が好調だった。

また、乗用車販売は、前年比14.0%増と4か月連続の増加となった。内訳をみると、軽乗用車が同比4.1%減と2か月連続の減少となったものの、普通車が同比34.4%増と4か月連続の増加、小型車が同比12.2%増と6か月ぶりの増加となった。新車の供給制約が徐々に解消されている。

4月の専門量販店販売額は、763億円で前年比4.5%増と8か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が167億円で同3.9%減（6か月連続の減少）、ドラッグストアが402億円で同8.7%増（11か月連続の増加）、ホームセンターが194億円で同4.1%増（5か月連続の増加）となった。

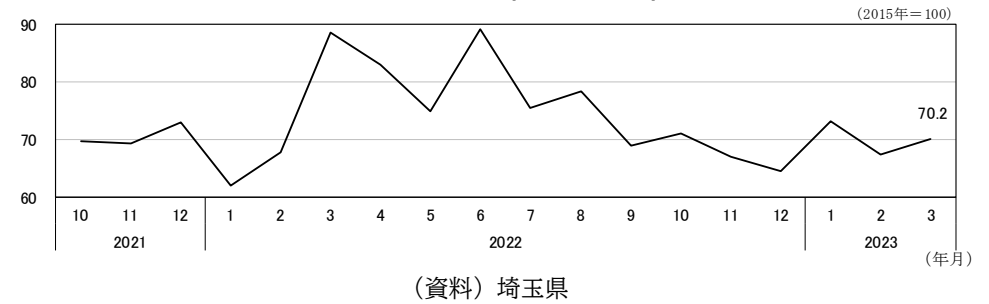
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、3月〈34.9〉、4月〈36.2〉、5月〈37.2〉と改善している。

設備投資 ~持ち直している



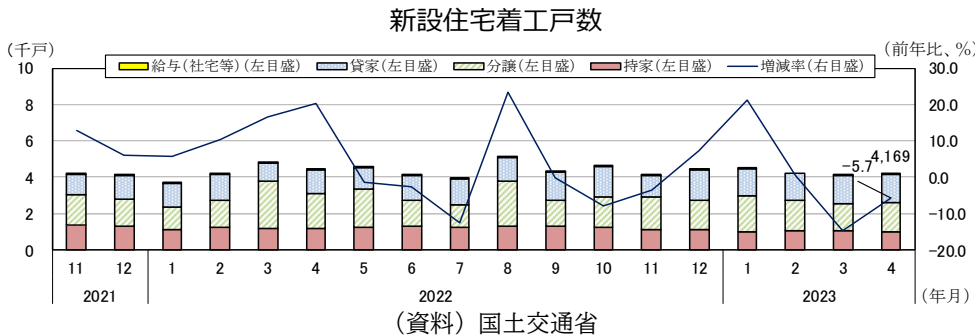
4月の民間建築着工床面積(非居住用)は、208千㎡で前年比24.9%減と4か月ぶりの減少となった。(5か月後方移動平均では前年比4.0%)
用途別にみると、店舗、工場及び作業場、学校の校舎は増加したものの、事務所、倉庫、病院・診療所がいずれも減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



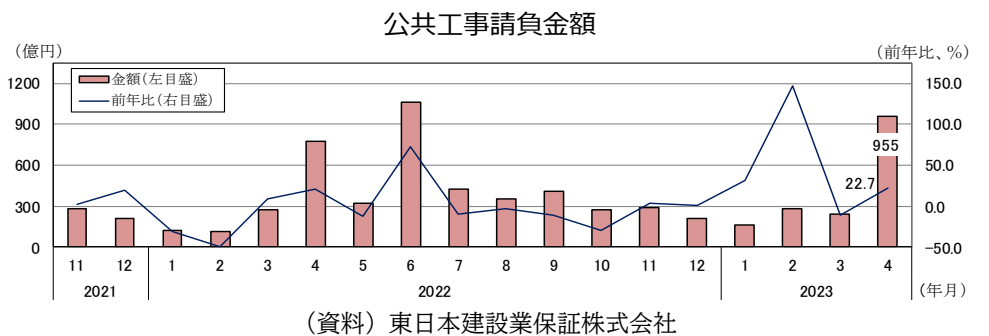
3月の資本財出荷指数(季節調整済)は70.2で、前月比4.2%増と2か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、前年比0.2%減)。

住宅建設 ~横ばいとなっている



4月の新設住宅着工戸数は、4,169戸で前年比5.7%減と2か月連続の減少となった(5か月後方移動平均は0.7%増、5か月連続の増加)。利用関係別にみると、貸家(1,577戸)が同18.9%増、分譲一戸建(1,355戸)が6.4%増となったものの、持家(964戸)が同16.2%減、分譲マンション(263戸)が同60.6%減といずれも減少した。

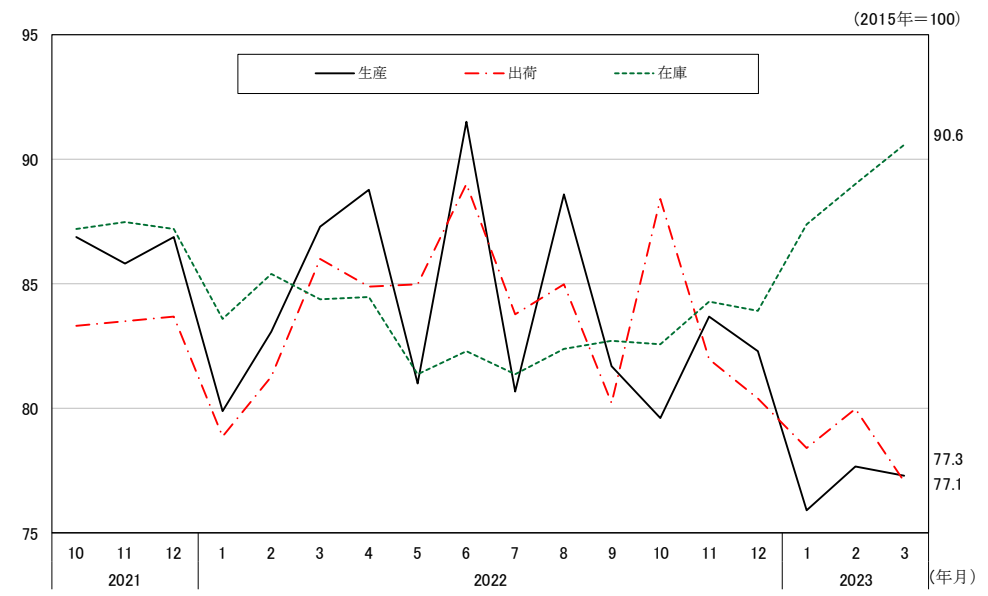
4 公共工事 ~横ばいとなっている



4月の公共工事請負額は955億円、前年比22.7%増となった(2か月ぶりの増加)。5か月後方移動平均では前年比23.5%増で推移。発注者別で見ると、独立行政法人等は減少したものの、国、都道府県、市区町村はいずれも増加した。

5 生産活動～弱含んでいる

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



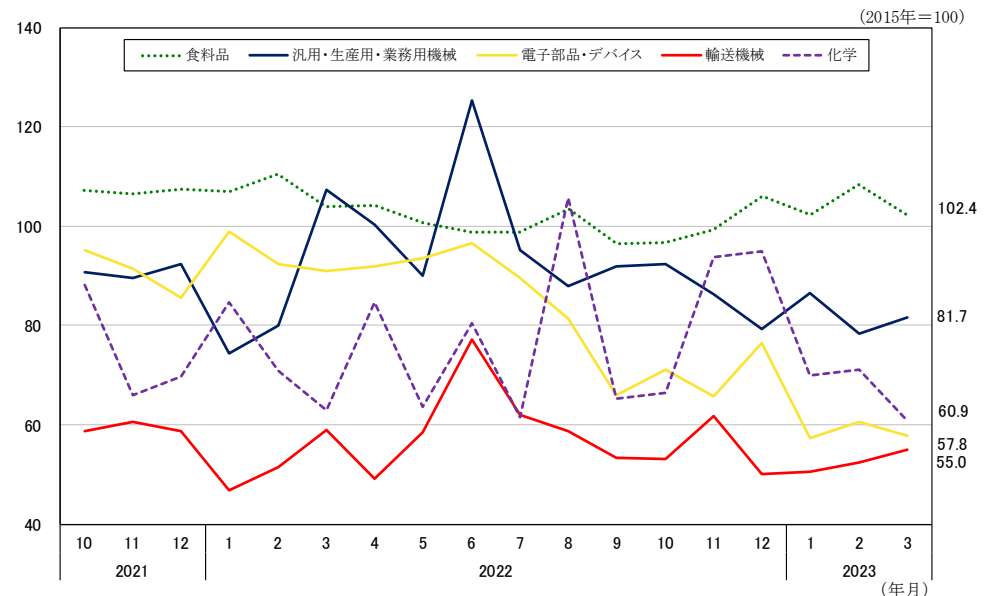
(資料) 埼玉県

3月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、77.3で前月比0.5%低下した(2か月ぶりの低下)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、マシニングセンタ)、その他(ユニット住宅、シャープペンシル)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、電気機械(クッキングヒーター、電力変換装置)などが低下した。

出荷指数(同)は、77.1で同3.6%低下(2か月ぶりの低下)。情報通信機械(カーナビゲーション、ガス警報器)、その他(ユニット住宅、シャープペンシル)などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、プラスチック製品(プラスチック製容器、その他のプラスチック製品)などが低下した。

在庫指数(同)は、90.6で同1.8%上昇した(3か月連続の上昇)。電気機械(クッキングヒーター、食器洗い乾燥)、鉄鋼(普通鋼小形棒鋼、鋼半製品)などが低下したが、輸送機械(乗用車、完成自転車)、その他(ユニット住宅)などが上昇した。

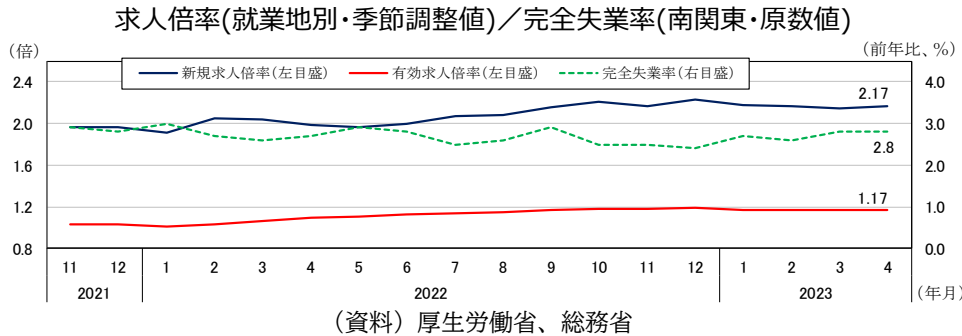
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

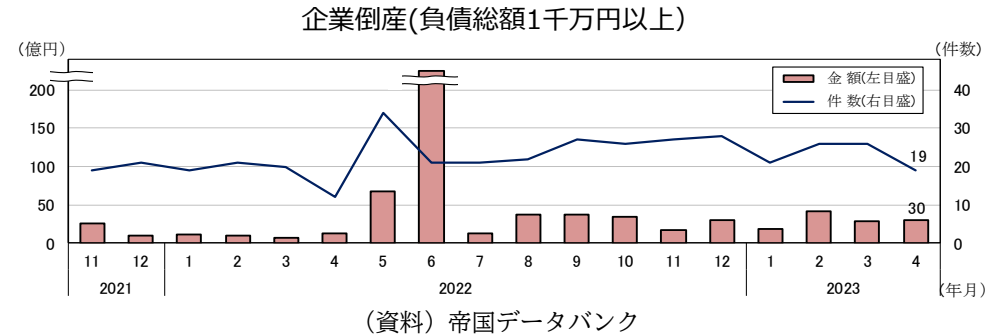
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、102.4で前月比5.5%低下、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、81.7で同4.3%上昇、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、57.8で同4.8%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、55.0で同4.8%上昇し、3か月連続の上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、60.9で同14.2%低下し、2か月ぶりの低下となった。

6 雇用情勢 ～穏やかに持ち直している



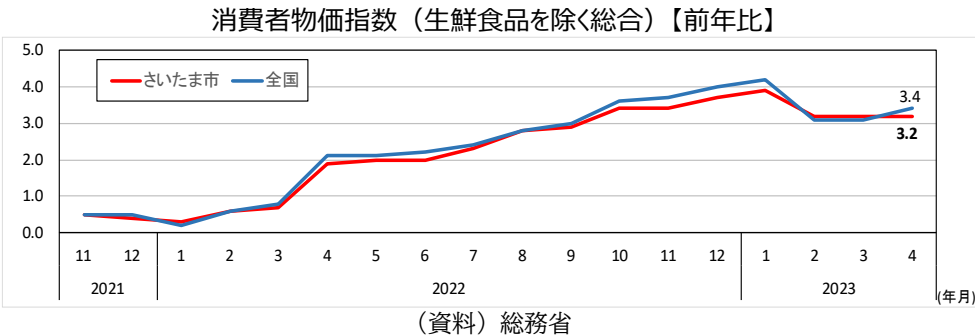
4月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.17倍で前月比横ばいとなった。また、新規求人倍率(同)は、2.17倍で前月比0.02ポイント上昇した(4か月ぶりの上昇)。
完全失業率(南関東、原数値)は、2.8%で前年同月比0.1ポイント上昇した(前年同月比2か月連続の上昇)。

7 企業倒産 ～増加傾向にある



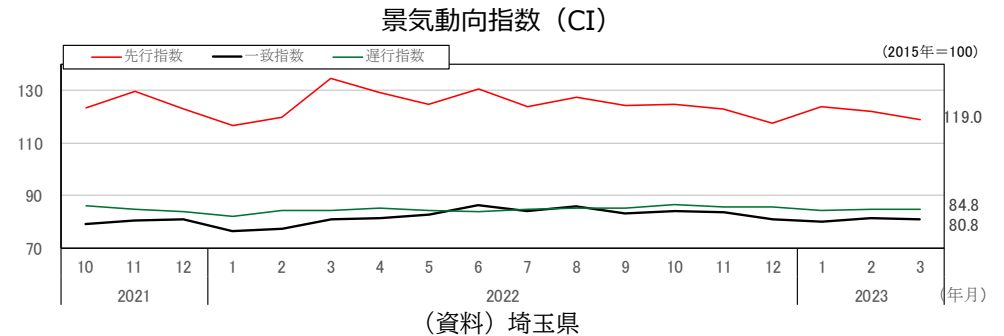
4月の企業倒産件数は、19件で前年同月比7件の増加となった。負債総額は30億円で同18億円の増加となった。
業種別にみると、建設業が最多で8件。次いで製造業が6件、卸売業、サービス業がそれぞれ2件と続いている。主因別では、販売不振が17件となっている。

8 消費者物価 ～上昇率がやや鈍化している



4月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比3.2%上昇した。食料(調理食品や乳卵類)、教養娯楽(主に旅行代金等)等の上昇が全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ～下方への局面変化を示している



- 3月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、80.8で前月比0.4ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、119.0で同2.9ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、84.8で同0.3ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。